

刊夕日三廿月四

常磐每日新聞

定価 一部全紙 五拾五圓 郵税五圓
 廣告料 五圓 十二字 一行 金五拾圓
 日曜 祭日の日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社
 電話 六三〇番
 印刷 株式会社

日本外科学會

見聞記 [四]

T. M 生

最後に會長齋藤教授の血管及び神經撮影法の宿題報告がある。靜脈又は動脈の中へ造影剤を注射して血管のレ線寫眞を撮影すると腦の中に腫物があればその部分で血管の走行が曲つたり蛇行したりするからその部位や大きさが分りやすい。又造影剤は心臓の中へも入れられるから心臓のレントゲン寫眞を昔よりはつきり撮して心臓疾患も診斷される。肺靜脈もよく撮るから肺疾患も判る。腹部大動脈へ造影剤を入れると腎臓もよく撮る。子宮の形態がよく寫眞に出る。脱疽の時血管のふさがつた部位を寫眞に撮せるからその部分を選んで手術すれば宣敷しい。又解剖學者は死体で委しく血管を調べて居るが生きて居る時の血液の循環の仕方は多少死後について想像したと異なる状態にある場所もある等貴重な研究であつた。終つて外科学會と齋藤會長の萬歳を三唱して散會した。

學會に出席して感じる興味は豫ねて斯う云ふ研究をして見たい。斯う云ふ方法があれば便利だ等と考へてた事が一年経たずにズバリと見事に完成されて發表される事や、又は奇想天外の新方法が完成されて發表される事である。日進月歩と云ふかドシ／＼醫學殊に外科方面は根強く發展してゐる。之だけ進歩すればどんな病氣でも怖れるに足らんと感じさへ起る。憾らくは角折進歩した最新の方法も民衆の徹底がまだ／＼で手遅ればかりしてゐると云ふ現状である。夫れには醫

- 明日の献立
- 朝味の汁
- 生玉子
- ライスカレ
- 紅生姜
- 湯豆腐
- 薬味

華は身体諸器管のレントゲン撮影法の宿題報告であつた。昔はレントゲン撮影と云つても漸く骨格だけしか撮す事が出来なかつたが現今では造影剤が發達した爲に何でもござれで、腦髓も肺臓心臓肝臓胃腸腎臓血管淋巴管神經全部生きたまゝの活動状態を撮影出来る事になつて、病氣の状態があら／＼と見る事が出来る様になつたわけである。レントゲンは生体の解剖である又は外科に取つてのレントゲンは戦争の時の飛行機と同じだと言葉は今學會によつて如實に證明された。今學會の特色としても一つ活動寫眞の利用、殊にレントゲンの活動寫眞の利用及びエビジャスコブと云ふて小さな標本や挿畫等を、幻燈仕掛けで擴大撮影して見せる装置や等の科學器械を極度に利用して實地見聞の豊富だつた事も殊に印象を深くした。學會の懇親會や市長の招待會やら名所見物の案内やらで觀待を受けたるも忘れられぬ想ひひ出た。



以上

社員採用

固定給參拾圓外手當支給
 二十才以上五十五才迄
 希望者は履歷書持參本人來談

日本商事株式平支部
 平町鍛冶町十八



春の...
 レンコート
 春のオーバ
 春のセビロ
 御用命を！
 平町四
 正札堂洋服店
 電話四三番

内外科一般

金成醫院
 金成忠義
 平鎌田町(電三五八)

是非!

御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店
 平・四電六〇六番

お花見の...
 折詰當
 是非御用命下さい

玉屋洋品店
 平町田町通(電話六五六番)

お花見の...
 折詰當
 是非御用命下さい

西村屋藥舖
 藥劑師 鈴木堅助
 電話 三番
 振替(東京六・二九九
 仙臺一・二〇一)

石炭
 豆炭
 阿部石炭店
 平 驛前
 電話三十七番

咲いたあく 正に絶景!

地上に点描する春模様

けふ公園の豪華的賑ひ

「櫻ばつと咲きばつと咲いた」咲き誇る松ヶ岡公園の櫻花の下から華やかな唄聲は爆發する今日の恵まれた快晴に

昨日の 雨で一日繰延べられた片倉磐城製糸の糸姫達が約五百餘名黄色い聲で街を行進すれば春色一きは映えて巷は明るい、松ヶ岡は昨日の春雨に誘はれて早くも八分咲きの見事な織りなす人の浪は娘達の派手な春模様を地上に惜しげなく點描、

引續く 團體と花見客に賣店の人達の顔も明らか物凄いな波で今日ばかりはアベツクも餘り映えない坂道は一系列の迂曲曲折した長蛇の帯の感じが深い、ソラ始まる「子供達の聲で平藝妓自慢の踊りが始まると大向ふから飛ぶ

彌次も 流石に花見ならではの真晝からほろよゝ氣嫌で何處かの団体客らしい洋服男がひよろ／＼池の端を泳いで行く、小名濱測候所の豫報もがらりはづれて氣まわりが悪いほど、天気、此處二三日は

大丈夫 續くらしく

平町は晝夜ぶつ通しの花見客が賑ふが廿六日の第四日曜を待ちあぐねて日毎に松ヶ岡の櫻に吸引される人達の平町に落す金額を一寸弾いて見ても相當大きなものであり、賣店や料亭の多忙さは豫想外のものであるらしい。

本郡滿洲巡查 去る

廿、廿一兩日仙臺市偕行社で行はれた滿洲國警察官採用試験の結果採用決定せる本郡出身者は左の五氏である

内郷村志賀武弘、小名濱町平慶治郎、同渡邊福泉吉田靱夫、内郷笠木幸一

最近出現の

事物を畫材に

平第二校か圖書の指導

平第二小學校圖書部では磐城中等學校X會展の呼び物である郡下小學校兒童作品展に出陳畫の優秀を誇る爲め一學級二名宛の指導員を選び熱心に課外指導を開始したが題材の主なるもの左の如くガソリンカーアドバルーン等々最近の平町を聯想させる暫新なモチーフが多く興味深いものがある

(尋三)唐獅子汽車ラクダ 群衆、サーカス (尋四) 肉屋、サボテン鹽引、ガソリンカー、バスガール

塵埃焼却

四倉で施設

四倉町では豫て塵埃焼却場新設の計畫中であつたがこの程工費五百餘圓で同町長谷川辰吉氏が工事を請負、今月末までに完成の豫定であるが本施設は毎日六百貫

自治刷新委員 平町

長青沼鋒太郎氏は廿二日發表された本縣内縣市町村自治刷新委員に選任されたが、右は市町村行政財政の刷新を圖り自治の更張を期すものである

訓盲院の豫算 平町

訓盲院にては昨日午後三時から理事會を開き本年度豫算を附議したが總額四千四百九十九圓にて前年度より百五十八圓の増を示した

第三校で種痘 平第

三小學校は廿三日全校生徒に種痘を行ひ廿八日に檢診する

男女青年總會 小名

濱、江名、玉川、湯本、泉渡邊、磐崎、鹿島三町五ヶ村男女青年團總會は廿四日小名小學校で開く

廣告行列入賞 既報

縣社小鐵倉神社大祭奉祝廣告行列入賞者の賞の授與式は本廿三日午後三時から同社前で進行はれたが授賞者左の如し

一等福助堂(二丁目驛通り) 二等田町世男館 三等田町 坂本代志美 四等田町 一ノ井 五等紺屋町 新妻三郎(以下十等迄)

産婆學術合格 本年

度に於ける本署第一回の産婆學術試験合格はこの程發表されたが平産婆看護婦學

校からは十八名受験して左記十三名の合格者を出す好成绩ぶりを見せた。尙實地試験は廿七日行はれる。

金成スイ 鈴木トク 渡邊フサ子 松崎ハナ 磯松ナツイ 菅山ミキ子 猪野美代子 本田敏子 太田ハル子 矢吹リク子 山崎フサ子 大木チエ 宮本千代子

内郷第三校長 内郷

第三小學校校長柴田正則氏は此程家事都合上退職後任として北會津郡一箕小學校校長鈴木重顯氏が近く赴任の筈

鐵道競技選手 平赤

井、小川各驛員及び平機關庫では来る廿八廿九兩日水戸鐵道俱樂部主催で水府グランドで開催される鐵道陸上競技會に左記チームを派遣することとなり連日第三小學校で猛練習中であるが尙保線區、檢車場等でもチームを派遣すべく詮衡中である

平町 人事

△南町六七 福島昌氏四男 誠さん
△四丁目九 松本良次氏二男員典さん
△堂前四 淺野和子さん (一ツ)

磐城セメント會社特約店

大倉屋商店

□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷はの生命なり
磐城平町五丁目 電話九・九九

御花見の準備!

花見折詰の準備が出来ました、何卒御用命の程御待ちして居ります

すし折詰 二十錢より
魚折詰 二十錢より
今年に特に目新しい材料を豊富に仕入れましたから精々勉強致します

平二番客 魚清食堂

魚に派六三三

ハナのタネ

入荷致しました 横濱植木會社の特撰品です

西村屋藥局 電話3

學校荒し専門の賊

断崖を飛降て悶絶

網を張つた警官隊に捕る

追跡されて逃場を失ふ

平署では最近頻々として管下學校、役場方面を荒し廻る怪盜あるため各學校並に役場に嚴重警戒方通達すると共に署員を

動員して警戒中であ

つたが昨廿二日夜十一時頃草刈部長外刑事二名が内郷村諏訪神社境内に張込み中同境内を徘徊する舉動不審の男を發見、誰何すると矢庭に怪漢は逃走をはかつたが部長等の追跡急なため逃場を失ひ、高さ

二十尺の崖より飛び降り胸部を強打して動けな

くなつてゐる處を難なく逮捕された
右は耶麻郡北山村大字下田善四郎長男前科四犯佐藤武男(二)で昨年八月宮城刑務所出所以來福島、茨城兩縣下に亘り學校並に役場専門に荒し廻り最近になつて石城地方に入り込み荒し廻つてゐたもので逮捕された同夜も内郷村内町小學校職員室に忍び込み職員洋服等を窃取逃走したもので他にも相當餘罪ある見込みで追究中

破藏犯

平署に捕る

口を緘して一語も語らぬ

平署は昨廿二日午後四時半頃湯本町より百姓風、約四十前後の男を引致目下嚴重に安藤刑事部長、草野刑事が取調べを續行してゐるが右は湯本町方面を荒した稀代の破藏犯らしく相當の餘罪あるものと思はれるが茨城生とのみで頑強に口を緘

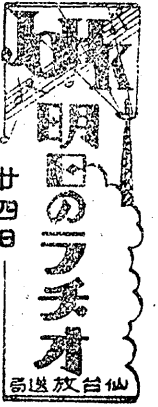
して語らぬため引續き追究中である
簡保加入者
更らに改善
齒科診療

金の二割引を實施して居たが仙臺通信局は五月一日から左記改善を實施することとなつたので平地方の被保険者も一層福祉の増進が見られる譯である
一、從來貴金屬の補綴に就いては割引を除外し來つたものがこれを一割引とする
一、料金の支拂ひは現金拂に限られてゐたが齒科醫との協議により地方の慣行に従ひ支拂ひ得ること
一、齒科診療券は豫め郵便局または簡易保健健康相談所から受け得ることになりまた緊急の場合には保険料領收帳を以て代用し得ること
一、從來は受診に先立ち診療券を提示することになつて來たのが中途に出しても差支へない

春季清潔

掃除日割

平署管内各町村春季衛生施行日割は湯本町を除いて左の如く行ふ
神谷五月十日夏井二日、飯野一日、高久四日、内郷御厩十五日、綴十七日、磐城炭礦職員宅十日、同



明日のラジオ

今晩も明日も南の風晴時々曇り

今晩の部

- 後六〇〇 子供の時間 童話劇「グエニス」の商人 胡蝶座
- 後六二五 文藝講座「日本とシエークスピアの話 豊田實(福岡)
- 後七三〇 講演「孔子教と日本意識」中山久四郎
- 後八〇〇 獨唱と管絃楽 長屋十七日、白水十日、磐崎四日、玉川六日、小名十日、江名三日、豊間五日、平窪三日、上下小川一日、赤井四日、福島炭礦十五日、好間十四日

明日の部

- 前六三〇 國語講座 佐伯常騰
- 前七〇〇 朝の修養「觀古河小田兩炭礦十五日、平町東部十日、平町西部十一日、澤渡三日、三阪四日、永戸一日、箕輪二日、

船に歸る積りで

海中に墜落

泥酔漁夫溺死

江名町大字江名和深七藏(五)所有漁船才勢丸乗組漁夫山形縣西田川郡加茂町湯野濱生れ奥山鐵之助(四)は千葉縣銚子沖に出漁し去る十八日風波のため銚子港に避難中上陸して波崎町で飲酒泥酔の末同夜九時頃歸船の途中誤つて海中に墜落行方捜査中であつたがこの程波崎町東中島地先利根川に溺死体となつて漂着したのを發見された

結核豫防に

平第一兒童の作品 小學校では来る廿七日の結核豫防デーに際して結核を喚起する兒童の作品展覽會を催すこととなつたが清書題材は左の如く決定した
(三年) 清き空氣 (四年) 先づ健康 (五年) 一人一日一運動 (六年) 黄金の光より太陽の光 (高一)

南町青年修養

南町青年分團にては昨十二日午後六時より平看護婦學校講

- 無量壽經「藤秀翠廣」
- 前九〇〇 家庭メモ
- 前一二〇 家庭講座「榮養と調理」終進藤真砂
- 後〇〇五 講談「桃山の歌合せ」桃川燕林
- 後二〇〇 婦人の時間 家庭と法律「牧野菊之助
- 後二四〇 小學生尋 六ラデオ綴方發表會(仙臺他六局)
- 後二一〇 教師の時間「尋四新書方手本の編纂趣旨」各務虎雄
- 後六〇〇 子供の時間 お話「三十三間堂譽れの射的」清水たかし
- 後八三〇 朝鮮歌謡曲 鮮干一扇他(京城)
- 後八五〇 浪花節「皆傳行安」 龍甲齋虎丸(岡山)
- 後九一五 日本棋院春季東西大手合戦

健康の要素 尙當日は學校長より講話を行ひ兒童の衛生としては各家庭の注意を促すため今後毎月グラ刷の衛生月報を配付すると

磐中野外演習 磐城中學校三年生の野外演習は今廿三日平窪村を中心として行はれた

學童春の登山 四倉久之濱南小學校生徒九百七十名は来る廿四日臨時列車で赤井嶽登山を行ふ

裁判所たより
△湯本町大字湯本字寶海七八炭礦坑夫生田目重松同町三國五八古物商門馬馨夫(三)同町字寶海二八炭礦坑夫鈴木貞吉(三)の三名が去る十六日午後十一時頃前記生田目方で十丹賭博開張した事件は今廿三日略式罰金各二十圓に處された
△東白川郡近津町生れ小名

平職業紹介所報告
回 人を求める方
△助手 十八才前後 月給五圓
△配達兼農夫 廿才前後 月給五圓
回 職を求める方
△土工夫 廿三才 高卒
△採炭夫 卅八才 高卒
△女工 廿三才 尋卒



(藝上映上)

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)

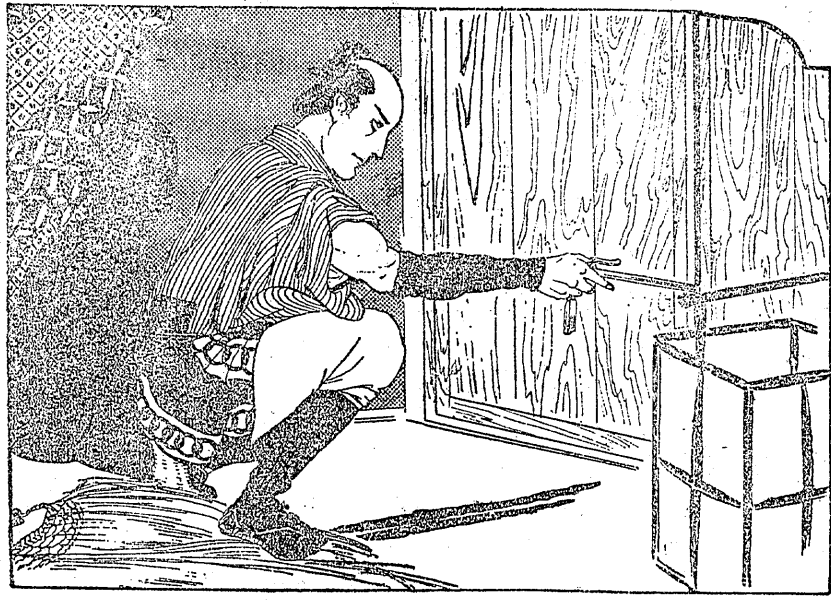
一〇三 危い瀬戸際
船頭の清六は緋の長編袴の所を仁兵衛に問はれて、この答へに困つた、ところへ表に聞える足音。
○「船頭起きろ、急いで船を出せ、これ船頭」

はげしく戸を叩く、
○「親分、戸は開きますぜ」
ガラリと開いて中に入つたがそれにあつた仁兵衛を見

○「これは松戸の親分でございますかえ」
仁「これは不思議だ、山の宿の武藏屋の若い者か」といつたが、今こゝへ来たは當時町奉行と市中取締の大岡源右衛門の部下になつてゐる淺草山の宿にあつた御用聞き庄七、金太に仙吉といふ子分二人をつれ、それに歩兵持圖役の長井剛助がつきそつて居る、庄七はこの小屋の内に目を配つたが

庄「仁兵衛さん、お前も追込ものがあつてこゝへ來なすつたかえ」
仁「豫ねしの御沙汰について青木の矢切に居ることを耳にしてさぐつたが、何うも江戸へ行つたやうに思

れる、そこでこゝで船に乗つてこの川を下ることにした。だがどうもこの船頭がおかしい、まア見てくんない、こゝに緋の長編袴がある、こんな物を船頭が着るわけはなからう」



庄七もそれへ目をつけて、庄「そこにあるは船頭か、そこに女があるな、一人ではあるめえ他に連があるだらう、なにそんなものはねえと、隠すな、もし仁兵

衛さん、今夜こゝへ俺が來たは傳法院の歩兵の屯所から町奉行におくる女だが、それが御座の渡しで逃げた、傳法院の屯所からの御沙汰でこゝに船で川を登りたしかに此方へ來たものとあたりをつけてこゝまで來たのさ、その女も青木彌太郎の一味のものだ、また女一人でこゝまで飛ぶことは出来なからう、助けた野郎も一緒にゐるに相違ねえ、お主は青木をたづねる俺はその女を御用にすつつもりでこゝまで出て來た

ゐたが
清「悪いことは出來ねえのう、お察しの通り繩脱けた女はこゝへ來ましたよ、イヤ一人でねえ、若い男が付いてゐた」
それを床下で聞いてゐた八百松船頭が白状をしては一大事飛び出して此奴らを蹴倒し、その間にお花をつれて逃げやうとかう決心した、すると清六はアハハハと笑ひ

清「イヤ飛んだことをした二人はこゝへ來まして少しの間休まましてくれそれに船を出してくれと金をくれたでな、今しがた二人を向ふ川岸まで送りました、それは嘘でいねえ」
といつた、これを八百松が聞いてこれでは逃れる事も出來るであらうと安心した、すると庄七につきそつてゐた長井剛助が
剛「船頭それはいつはりではあるまいな」
と念を押した。

清「全くでございますよ」
剛「これ庄七、すぐこゝを渡つて彼等の後を追へ」
庄「まあお待ちなさい、オイ船頭二人はむかうに越したと」
清「わしが送りましたよ、しかしそんな悪い奴とは思はなかつた、若い男に若い女だでかけおち者だとはかり思ひまて、それは繩脱けの女かね、おそろしい奴だのう」
庄「二人は何處へ行くとい

清「その事は聞かぬが、松戸の方へ行つたやうに思はれるが」
庄「ウムさうか、ヤイ船頭もつと前へ出る、この野郎とんでもねえことをいふな松戸はこの戸棚のことか」と、づかくとあがり、お花の忍んでゐる戸棚に手をかけた。

廣 告

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎 回文庫

電話六三〇番

(申込次第規則書進呈)

木村病院

平町新川町十九

電話一六四番

一の井 別館落成

平町田町五

静かなお座敷

氣輕な食堂

一の井

電一六七

耳鼻咽喉科専門

平町(電話六九一番)

病室完備

自炊便有

山内醫院

醫學士山内亨吉

一齒科一般 保存科補綴科 繼續架
工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
一口腔外科 一レントゲン科

中野齒科醫院

平町田町(松月堂向ヒ)

院長 日本齒科醫學士 中野 惠次

醫學士 西川 誠

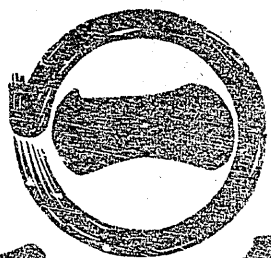
保護婦至急募集す

干やなぎ

美味 鯉 鹽から

当店特製

鯉 節



魚問屋

榮盛賀志

(番三一三話電)目丁四町平